

JCI-TC125FS「コンクリート構造物のインフラドック構築フィージビリティ調査研究委員会」(Technical Committee on Feasibility of Establishment of Infra-Dock for Concrete Structures)

第1回 委員会 議事録(案)

日時：2012年 6月18日(月) 16時～18時

場所：日本コンクリート工学会 第3会議室

出席者(敬称略)：大津，岡本，今本，永山，塩谷，大野，奥出，込山，小林，沢田，鈴木，西脇，濱崎，増井，桃木，渡辺(健)，渡辺(佳) 計17名

資料：委員名簿，(様式2) JCI研究委員会資料，第1回議事次第

議事：

1. 委員紹介

資料の委員名簿に基づいて，各委員の自己紹介と名簿の修正を行った。

2. 委員長挨拶

(様式2) JCI研究委員会資料と第1回議事次第に基づいて，FS委員会の特徴と提案された活動内容について紹介がなされた。その後，活動内容の確認のため質疑が行われた。

3. 幹事の確認

以下の幹事の確認とWG担当について質疑を行った。

幹 事：岡本 享久(立命館大学大学院・理工学研究科)

：今本 啓一(東京理科大学・工学部)

：塩谷 智基(京都大学大学院・工学研究科)【ホームページ担当】

：永山 勝(日本建築総合試験所)

4. ワーキンググループの設置と委員の配置

3つのワーキンググループへの各委員の参加希望を調査し，以下のような配置を行った。

WG1：有用なコンクリートの欠陥評価法の整理(塩谷，今本)

検査のために，可視化を含めた現場仕様の非破壊試験法の開発と整理を進める

委員(渡辺(健)，奥出，大野，沢田，鈴木，桃木，増井，湯山)

WG2：インフラドック現場検査手順の確立(永山)

コンクリート構造物のインフラドック構築のための点検技術として現場計測法を整
備する。—— 日帰りコース，1泊コース，オプションコース，「耐震診断」？

委員(小林，奥出，沢田，鈴木，濱崎，渡辺(佳)，渡辺(健)，

桃木，増井，西脇，松田，上田)

WG3：検査制度の確立と検査員としてのコンクリート診断士の活用（岡本，永山，塩谷）

実施には，受診方法や制度の確立に加えて，検査員や医師にあたるスタッフが必要で，そのための（社）日本コンクリート工学協会の「コンクリート診断士」の活用及び組織化を検討する。

委員（濱崎，大野，小林，渡辺（佳），増井，込山，森濱，加藤，古賀）

5．委員会方針

各WGの目標に対して質疑を行い，会員との意見交換により提案すべきインフラドック構築案の内容を詰めるため，フォーラムを開催することが委員長より提案された。

そこで，WGの中でメール審議などによって活動内容と方針のたたき台を作成し，次回に持ち寄って詰めの審議を行うことになった。

6．次回の計画

次回開催日は，9月21日（金）とし，WG1，WG2，WG3，全体会議と午後全てを使用して，フォーラム開催に向けての方向付け，意見集約，インフラドックのあり方その他についての集中審議を行うことにした。